



クラブ活動報告

"Life-saving mother and baby" project (母と子の命を救うプロジェクト)

堺北ロータリーカラブ

今年度、当クラブでは、グローバル補助金を活用し、友好クラブのノンケームロータリーカラブ(RI3350地区 タイ王国)との協同プロジェクト「母と子の命を救うプロジェクト」を行いました。

タイの貧困地域バンジャイ・エリアでは、毎年500人の妊婦がバンジャイ病院(Bangyai Hospital)の分娩室で出産を行っていますが、無事に出産しても新生児が未熟児や低体温などの問題で死亡するケースや、医療機器が揃っていないが故に、障害を負うケースもあるようです。医療機器が整っている日本では考えられないことですが、多くは救われる赤ちゃんの命です。

そのような不安を抱えるバンジャイ・エリアの妊婦達から、何とか医療機器を整えて欲しいと多くの要望が寄せられていることを知り、病院に必要な医療機器を購入、設置を行い、看護師に使い方の勉強会やセミナーを開催し、安全な運用が出来るよう、また医師や看護師を通じて妊婦へ説明を行うことで、安心して出産が迎えられるようにするプロジェクトを立ち上げました。

しかし、新型コロナウイルス(COVID-19)の影響で、深刻なパンデミックのため、当初の計画通りにいかず、遅れながらも4月28日(水)ようやく病院へ医療機器の引き渡しを行いました。今回はバンジャイ病院(Bangyai Hospital)への医療機器の引渡しのみで、本来予定していた医療機器を使用する為の医療関係者へのトレーニングプログラムを開催することが出来ませんでした。医療関係者と高齢者へのワクチン接種が終わり、新型コロナウイルスが落ち着いてからトレーニングプログラムを行つ予定です。

上記贈呈式には我々堺北RCも有志を募って参加する予定でしたが、現地に向かうことができず、非常に残念ではありましたが、友好クラブのノンケームRCのメンバーたちが、このコロナ禍の中、現地調査、贈呈式をご苦労されながらも進めてくださったことに感謝いたしたいと思います。

医療機器については、次の通りです。

- ① 2ユニットの保育器(Infant Radiant Warmer)。
出産直後の赤ちゃんの体温を適温に保ち維持する装置。
- ② 1ユニットの胎児心電計。胎児の心拍数とリズムを確認し、胎児の健康状態を確認する装置。
- ③ 分娩室で使用した天井取付型検査ライト1台。

